2026年 11月 12日

各　位

会 社 名　セントラル硝子株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員 前田 一彦
（コード番号 4044　東証プライム）
問合せ先　コーポレート・コミュニケーション部長
橋本 秀和
（TEL：03-3259-7062）

2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年8月10日に公表しました2027年3月期 第2四半期（中間期）の連結業績予想と本日発表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせします。

また、通期連結業績予想につきましても修正しましたので、あわせてお知らせします。

記

１．2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異
（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A） （2026年8月10日公表）	百万円 79,000	百万円 6,200	百万円 6,300	百万円 4,200	円 銭 169.40
実　績　値（B）	79,383	9,467	9,340	7,274	293.41
増　減　額（B-A）	383	3,267	3,040	3,074	
増　減　率（%）	0.5	52.7	48.3	73.2	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	66,430	2,502	3,412	2,135	86.17

２．2027年3月期 通期連結業績予想の修正
（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （2026年8月10日公表）	百万円 167,500	百万円 11,000	百万円 11,300	百万円 8,000	円 銭 322.67
今回発表予想（B）	171,000	16,000	16,200	12,500	504.15
増　減　額（B-A）	3,500	5,000	4,900	4,500	
増　減　率（%）	2.1	45.5	43.4	56.3	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期通期）	144,479	10,029	12,281	8,360	333.27

３．差異および修正の理由

当第２四半期（中間期）の連結業績につきましては、電子材料における一部特殊ガス製品の原材料費高騰に伴う販売価格の適正化や、素材化学品における HFO 製品、機能性材料製品の出荷が好調に推移したことなどにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表を上回りました。

通期の連結業績につきましては、電子材料における一部特殊ガス製品の販売が第３四半期に一旦減少するものの、エネルギー材料、素材化学品の販売が堅調に推移し、売上高は前回発表を上回る見通しです。利益面では、当第２四半期（中間期）の増益などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表を上回る見通しです。

＜補足情報＞

上記２．「2027 年３月期 通期連結業績予想の修正」における売上高および営業利益内訳

（単位：百万円）		前回発表予想	今回発表予想	増減額	増減率（%）
売上高	電子材料事業	37,400	34,000	△ 3,400	△ 9.1
	エネルギー材料事業	21,300	24,500	3,200	15.0
	ライフ&ヘルスケア事業	41,300	43,500	2,200	5.3
	ガラス事業	62,000	63,200	1,200	1.9
	その他	5,500	5,800	300	5.5
	合計	167,500	171,000	3,500	2.1
営業利益	電子材料事業	5,400	7,000	1,600	29.6
	エネルギー材料事業	△ 2,700	△ 2,900	△ 200	－
	ライフ&ヘルスケア事業	6,000	8,100	2,100	35.0
	ガラス事業	2,200	3,500	1,300	59.1
	その他	100	300	200	200.0
	合計	11,000	16,000	5,000	45.5

※この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

以 上